

Researcher Mobility Grant 報告書

< 招聘教授・研究員の情報 / Guest Professor・Guest Scholar >

1. 氏名/Name

Saad EL JAOUHARI

2. 所属機関・職名/Affiliation (Home Organization)・Position

ISEP (Institut Supérieur d'Électronique de Paris)

Enseignant-Chercheur (教員・研究員)

3. 研究期間 (入国日～出国日) /Period of Stay (from the date of entry to departure)

2026 年 7 月 13 日～2026 年 7 月 22 日

4. 専攻/Field of Research

サイバーセキュリティ、IoT セキュリティ、ネットワークセキュリティ

5. ホスト教員氏名と所属学部研究科等/Name of host teacher and affiliation

齋藤孝道・理工学部

6. 講演会の概要 (タイトル、日時、場所、参加人数、内容)

タイトル: ISEP におけるデジタル工学、フランスのサイバーセキュリティ、そしてグローバルな IoT セキュリティの課題

日時: 2026 年 7 月 14 日 (火) 10:50～12:30

場所: 明治大学 生田キャンパス 中央校舎 0405 教室

参加人数: 21 名

フランスの高等教育機関 ISEP の教育・研究活動を紹介するとともに、フランスにおけるサイバーセキュリティの動向について講演を行った。特に、重要インフラ防護、データ保護、サイバーセキュリティ人材不足を取り上げたほか、IoT 環境におけるデバイスのセキュリティ強化不足、ソフトウェア更新の制約、安全でない通信経路などの課題について解説した。最後に、同氏の IoT セキュリティ研究を紹介し、参加者との質疑応答を行った。

7. 研究課題、研究概要、研究期間中の活動実績 / Research Theme, Outline, Results

研究課題: IoT・ネットワーク環境におけるサイバーセキュリティと AI 時代の新たなセキュリティ課題

招聘期間中、IoT・ネットワークセキュリティを中心に、日本とフランスにおける研究動向や今後の共同研究の可能性について意見交換を行った。特に、IoT システムのセキュリティ

とレジリエンスに加え、生成 AI の発展に伴う偽情報や情報操作など、新たなサイバーセキュリティ上の課題について議論した。

その成果として、AI 生成偽情報の検知・分析と、その社会的影響を低減する手法を今後の共同研究テーマとして検討することとなった。また、日仏交流促進事業 **PHC Sakura プログラム** への**共同研究提案**について協議を開始するなど、ISEP と明治大学との継続的な研究協力につながる成果を得た。



参加者の一部での撮影、プライバシーのため、JAOUHARI 氏と齋藤以外はマスク



懇親会の様子、プライバシーのため、JAOUHARI 氏と齋藤以外はマスク